

八代海(不知火海)・有明海の再生をめざして

～美しい自然環境に囲まれ、災害につよく、元気でいきいきした沿岸地域づくり～

開催計画概要

(1) 開催趣旨

かつて豊穡の海として、かけがえのない多くの恵みもたらしてくれた八代海・有明海は、水産資源の減少や赤潮の長期化・大規模化に代表されるように、著しい環境劣化の悪循環に陥っていると考えられ、その自然再生は極めて重要な緊急の課題です。海域環境の悪化が著しい一方で、この両海域は台風の常襲地帯でもあり高潮・高波などの海象災害や洪水・土砂災害などに悩まされ自然災害に対する防災・安全対策も欠かすことができません。しかしながら、これらの防災対策が自然環境を阻害している面もあり、如何にして「環境」と「防災」の相反する課題に対処していくかを新たな課題として見据えていかなければなりません。

この両海域の再生にあたっては、海域のみならず陸域を含めた沿岸域一帯としての取り組みが必要であり、より良い八代海・有明海の未来へ向かって、多様な関係者が共通認識を持って進むべき時が訪れています。そのためには、職業や立場、世代が異なる様々な分野の皆さんが協力し合いながら一体となった連携体制が重要で、全国でそういった活動が広まりつつあり、「全国アマモサミット」もその一つです。

「全国アマモサミット」とは、「アマモ」と「アマモ場」を象徴的なキーワードとして、海の自然再生・保全を目指して 2008 年に開始された会議で、これまで全国各地の海とその沿岸地域が“抱える課題”をテーマに、市民、高校生、地域団体、行政、研究機関など職業や立場、世代が異なる様々な分野の皆さんの活動紹介と意見交換が行われております。

この八代海・有明海が抱える“海の自然環境の保全と再生”“環境と防災の調和”をテーマに、この八代海・有明海が多くの方に理解されるとともに、関係者が情報・意見交換などを行い、“どうすれば豊かな八代海・有明海を再生することが出来るのか？これまで以上に良くするにはどうすればいいか？”、“安心・安全で元気でいきいきした沿岸地域環境をどう守り、つくっていくか？”を一緒に考える機会を設け、八代海・有明海の再生へ向けての活動推進のきっかけにするために「第 8 回全国アマモサミット 2015in 熊本県・八代市大会」が開催されました。

第 8 回全国アマモサミット 2015in 熊本県・八代市大会 実行委員長
滝川清（熊本大学沿岸域環境科学教育研究センター・特任教授）

(2) 開催日時及び開催概要

平成 27 年 10 月 2 日（金）	12：00 ～ 17：00	展示・エキスカーショ
平成 27 年 10 月 3 日（土）	9：00 ～ 17：00	シンポジウム・展示・食物産展
	17：30 ～ 20：00	レセプション
平成 27 年 10 月 4 日（日）	9：00 ～ 16：00	展示・食物産展
	9：30 ～ 12：30	海の自然再生高校生サミット（同時開催）
	13：30 ～ 16：30	有明・八代海再生推進フォーラム

（大会ホームページ：https://accafe.jp/amamo_summit2015/）

(3) 開催場所

やつしろハーモニーホール（〒866-0854 熊本県八代市新町 5-20、0965-53-0033）